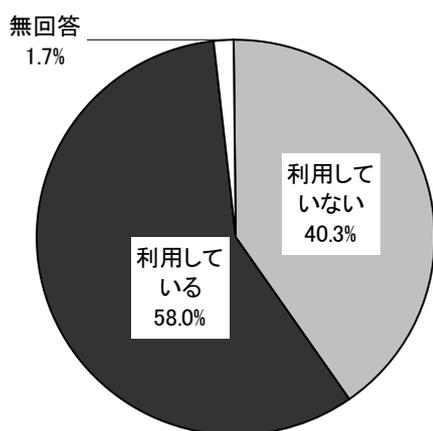


2. 情報化について

2-1 インターネットの利用状況

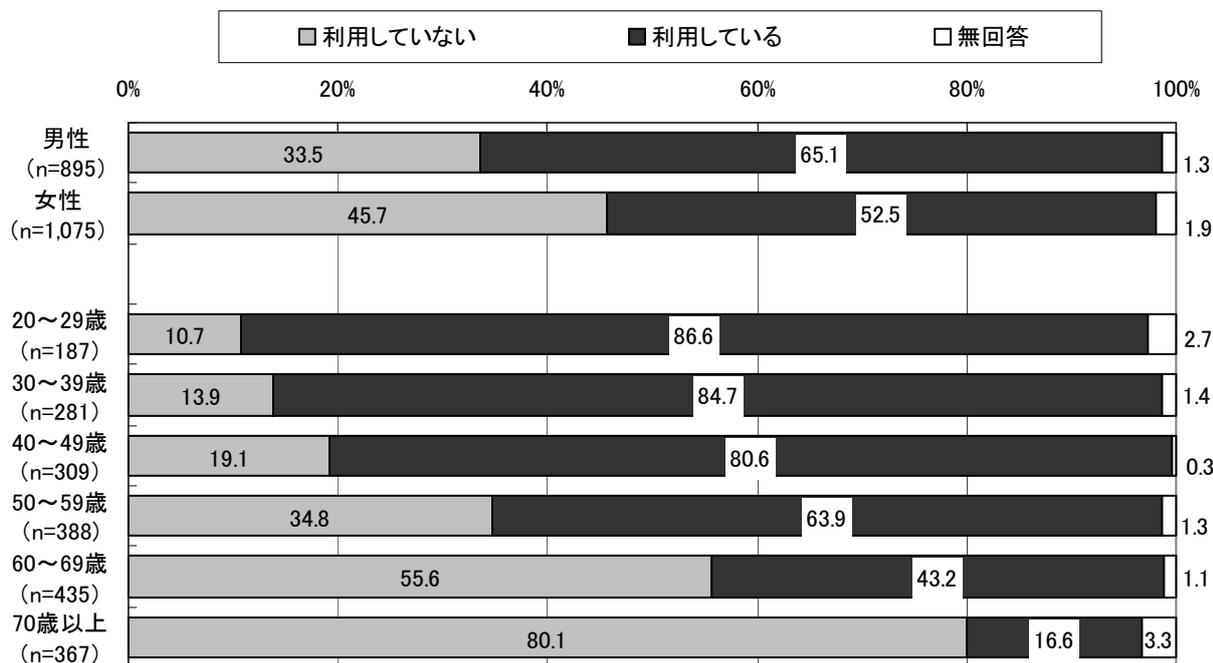
問3 あなたは、インターネットを利用していますか。(1つ選択)

図 2-1 (インターネットの利用状況)【n=1,980】



インターネットを「利用している」は58.0%で半数を超えており、「利用していない」は40.3%となっている。(図 2-1)

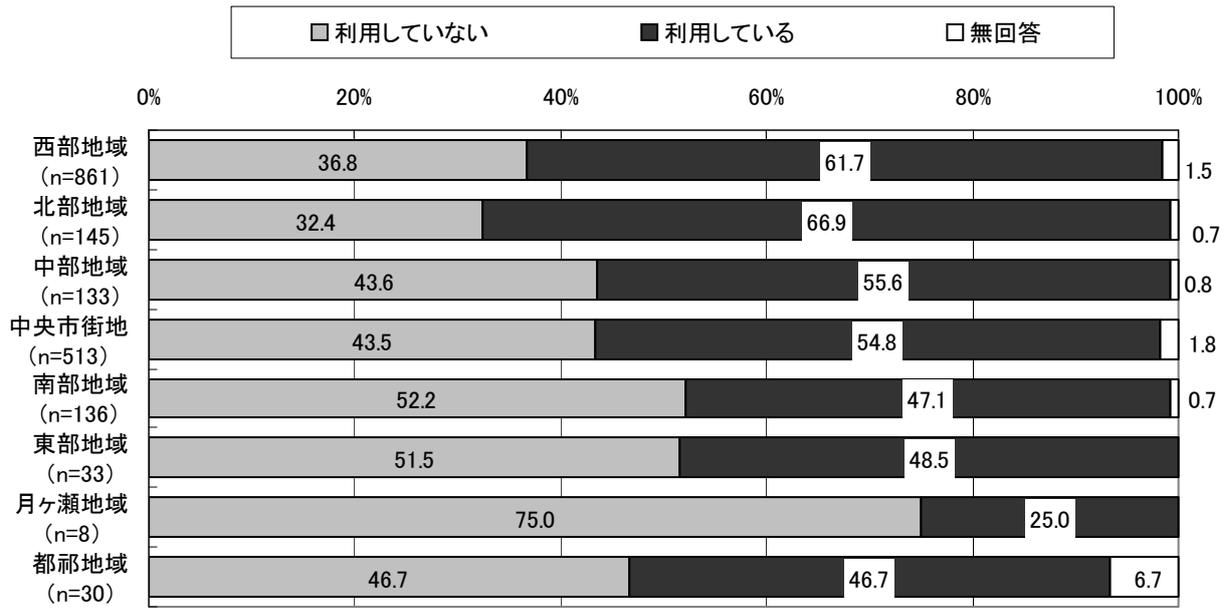
図 2-1-1 (性・年齢別 インターネットの利用状況)



性別にみると、「利用している」が男性は65.1%、女性は52.5%で男性の方がやや高い。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用していない」の割合が高くなっており、60~69歳では5割強、さらに70歳以上になると8割を占めている。(図 2-1-1)

図 2-1-2 (地域別 インターネットの利用状況)

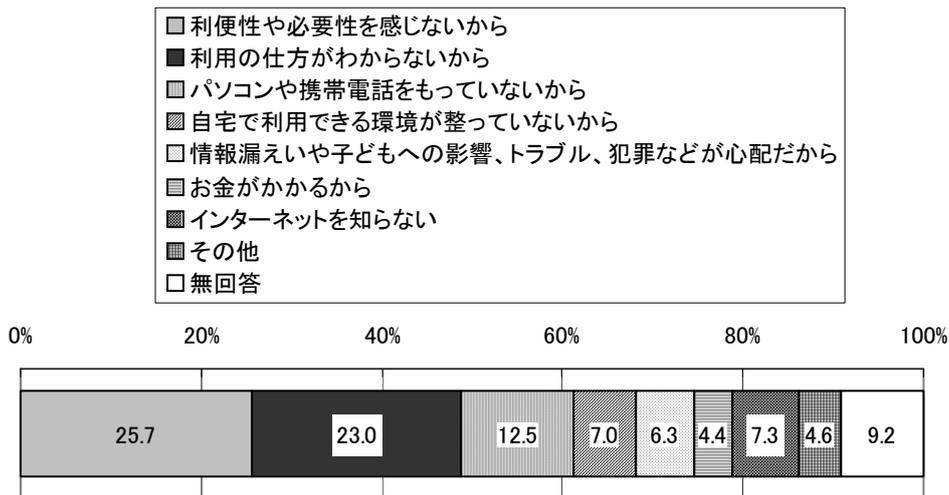


地域別にみると、西部地域と北部地域で「利用している」が6割を超えている。月ヶ瀬地域は「利用していない」が4人に3人の割合となっており、未利用者が多い。(図 2-1-2)

2-2 インターネットを利用しない理由

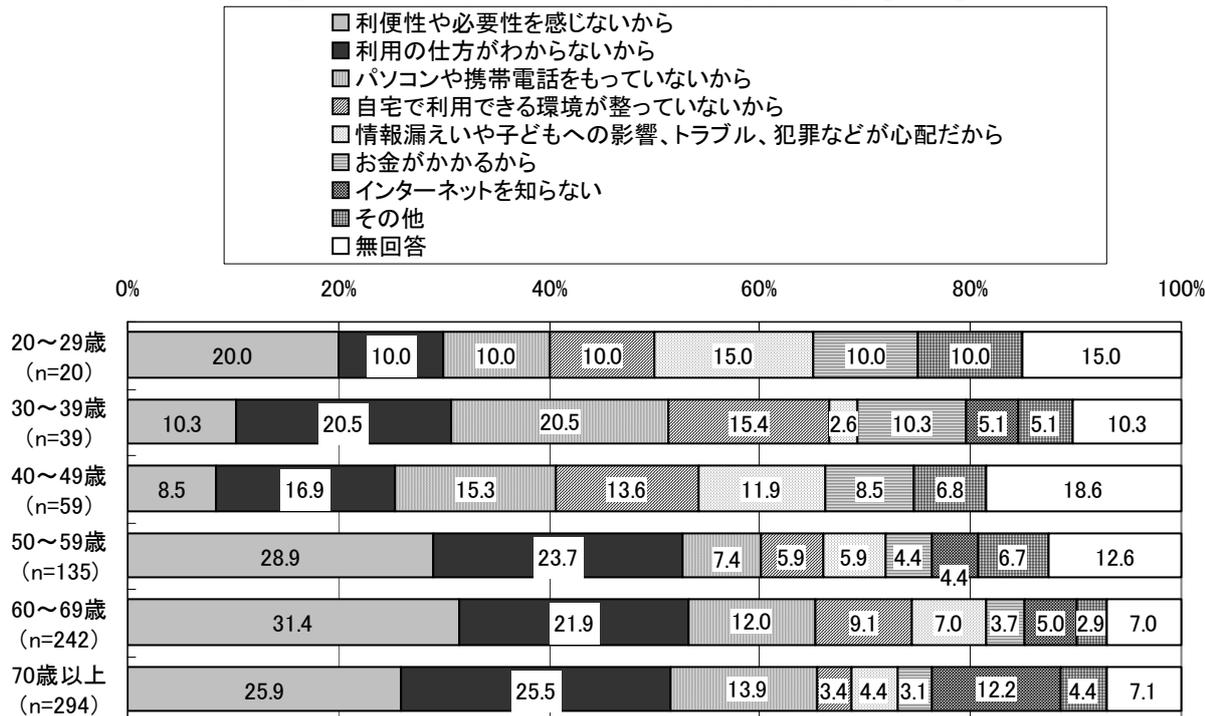
問 3-1 「1. 利用していない」と回答された方に伺います。インターネットを利用していない理由は何ですか。(1つ選択)

図 2-2 (インターネットを利用しない理由) 【n=797】



「インターネットを利用しない」に回答した人にその理由を尋ねたところ、「利便性や必要性を感じないから」が25.7%で最も高くなっている。次いで「利用の仕方がわからないから(23.0%)」、「パソコンや携帯電話をもっていないから(12.5%)」の順となっている。(図 2-2)

図 2-2-1 (年齢別 インターネットを利用しない理由) 【n=797】

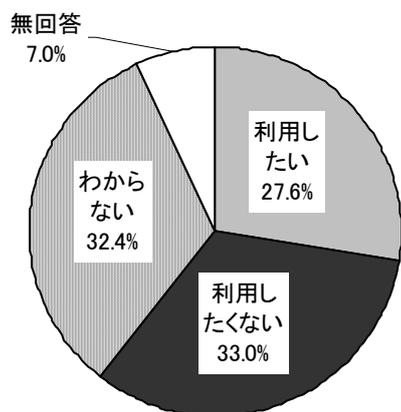


年齢別にみると、70歳以上では、「利便性や必要性を感じないから」と「利用の仕方がわからないから」がほぼ同率でそれぞれ4人に1人の割合となっている。「パソコンや携帯電話をもっていないから」が30～39歳で2割、60歳以上で1割を超えている。(図 2-2-1)

2-3 インターネットの利用意向

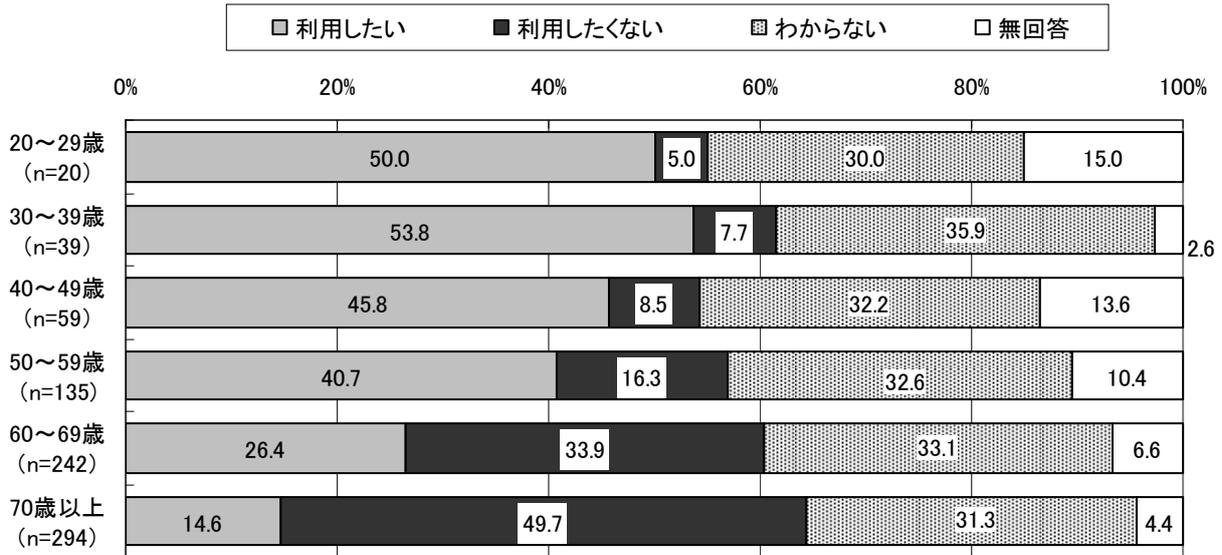
問 3-1-1 今後、インターネットを利用したいと思いますか。(1つ選択)

図 2-3 (インターネットの利用意向) 【n=797】



今後のインターネットの利用意向については、「利用したくない」が33.0%で最も高く、次いで「わからない」が32.4%、「利用したい」が27.6%の順となっている。

図 2-3-1 (年齢別 インターネットの利用意向)

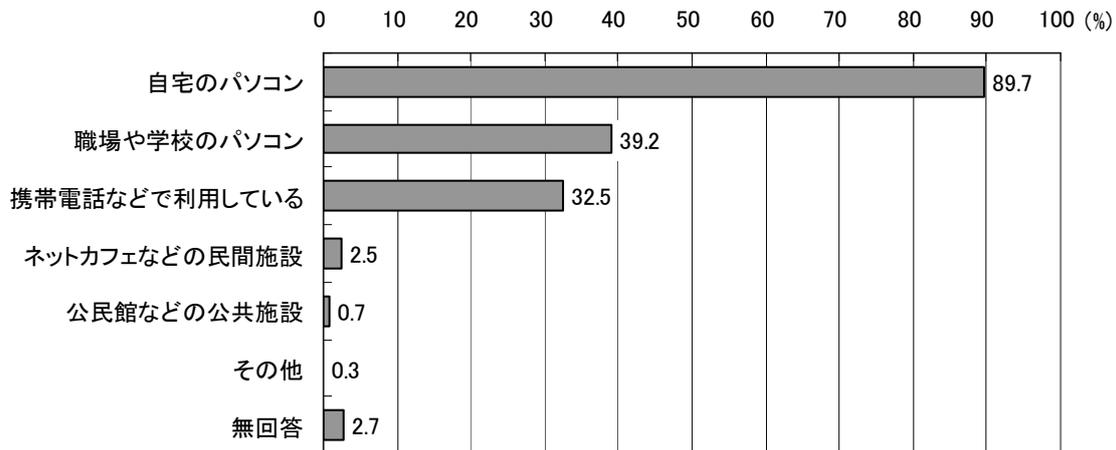


年齢別にみると、60歳未満では「利用したい」が4～5割、60歳以上では「利用したくない」が3割～5割となっており、年齢が高くなるにつれて利用意向が低くなっている。(図 2-3-1)

2-4 インターネットを利用する場所

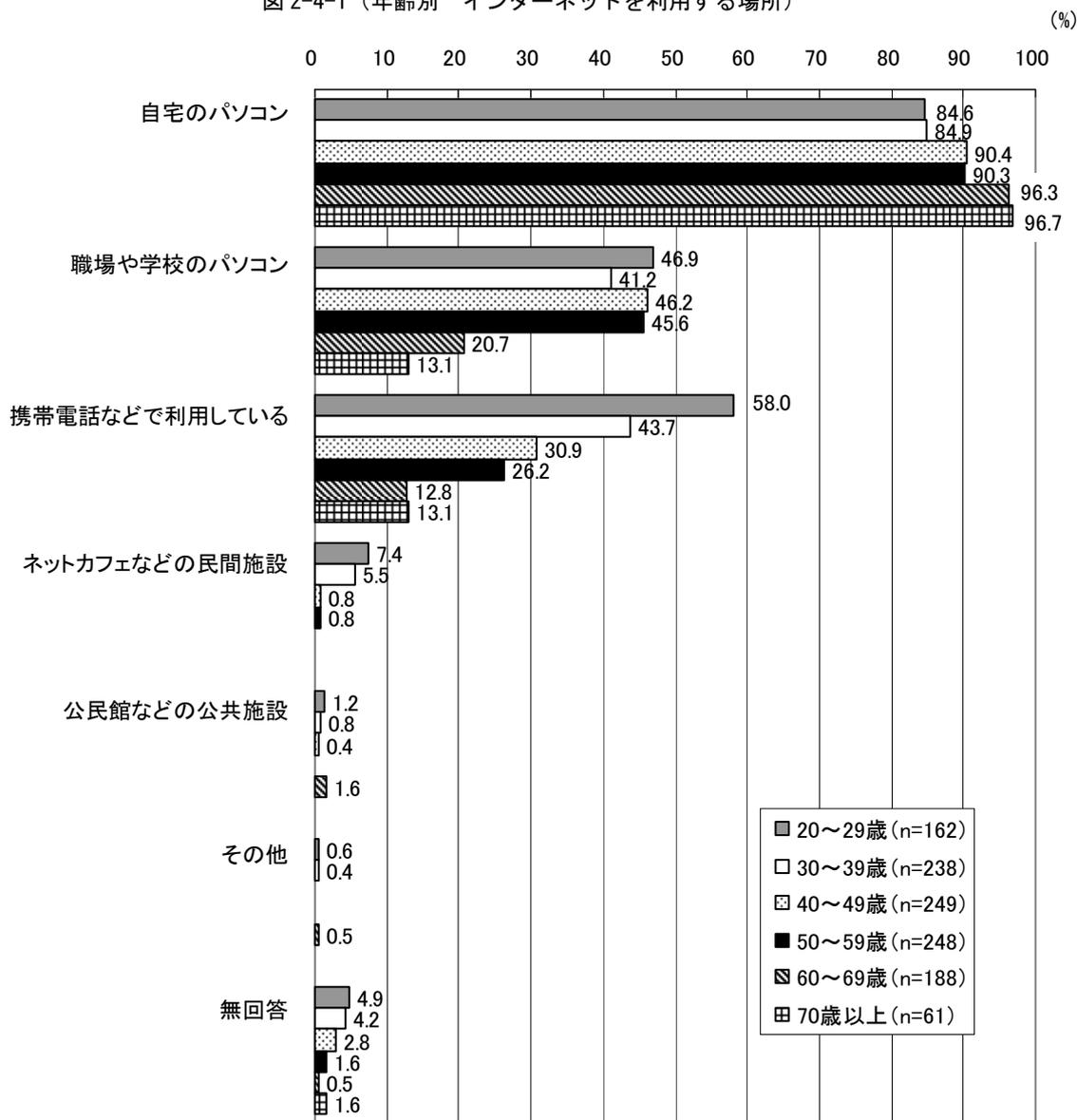
問 3-2 「2. 利用している」と回答された方に伺います。インターネットを主に利用する場所はどこですか。(あてはまるもの3つ以内に○)

図 2-4 (インターネットを利用する場所) 【n=1,149】



インターネットを利用していると回答した人に、利用する場所を尋ねたところ、「自宅のパソコン」が89.7%で最も高く、次いで「職場や学校のパソコン (39.2%)」、「携帯電話などで利用している (32.5%)」の順となっている。(図 2-4)

図 2-4-1 (年齢別 インターネットを利用する場所)

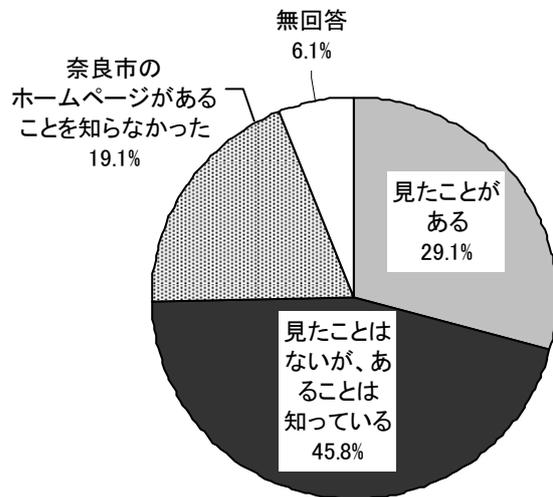


年齢別にみると、60歳以上では「自宅のパソコン」が96%と割合が高い。「携帯電話などで利用している」は、年代が低いほど利用率が高く、20～29歳で5割を超えている。(図 2-4-1)

2-5 市のホームページの認知度

問4 奈良市のホームページを見たことがありますか。(1つ選択)

図 2-5 (市のホームページの認知度)【n=1,980】



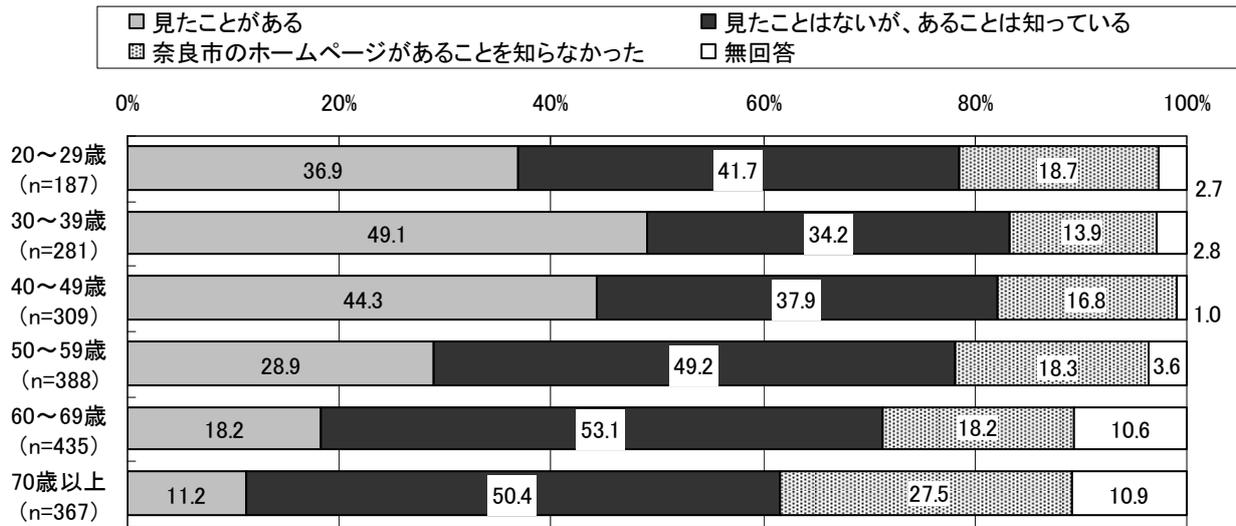
市のホームページについて「見たことはないが、あることは知っている」が45.8%で最も高く、次いで「見たことがある」が29.1%で74.9%の人に認知されている。その一方で、「奈良市のホームページがあることを知らなかった」は19.1%となっている。(図 2-5)

表 2-5-1 (平成 13 年度調査結果 市のホームページの認知度)

	全体	見たことがある	見たことはないが、市のホームページがあるのは知っている	奈良市のホームページがあることを知らなかった	無回答
全体	749	180	325	241	3
	100.0	24.0	43.4	32.2	0.4

平成 13 年度「奈良市政についての世論調査」と比較すると、「見たことがある」は 5.1 ポイント、「見たことはないが、あることは知っている」は 2.4 ポイント前回調査を上回っている。「奈良市のホームページがあることを知らなかった」は 13.1 ポイント前回調査より下回っている。(表 2-5-1)

図 2-5-2 (年齢別 市のホームページの認知度)

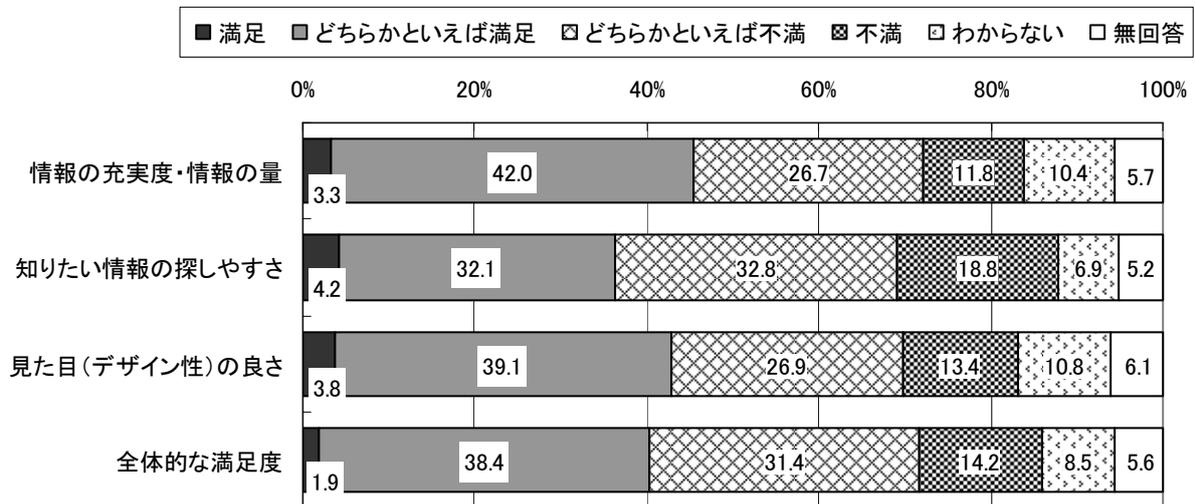


年齢別にみると、30～49歳では、「見たことがある」が5割近く、50歳以上では「見たことはないが、あることは知っている」が5割前後で最も高くなっている。(図 2-5-2)

2-6 市のホームページの満足度

問 4-1 「1. 見たことがある」と回答された方に伺います。奈良市のホームページの各項目の満足度をお答えください。(各項目1つ選択)

図 2-6 (市のホームページの満足度) 【n=576】



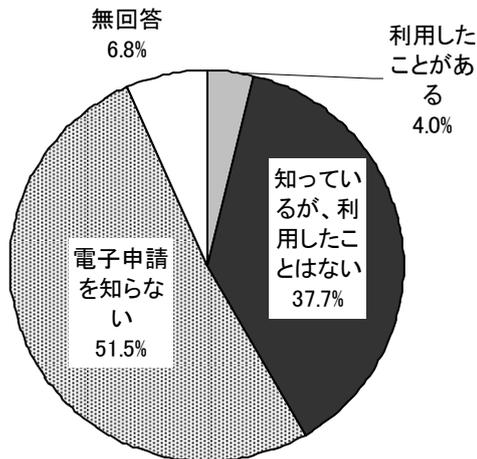
市のホームページを見たことがある人に、それぞれ満足度を尋ねたところ、『情報の充実度・情報の量』と『見た目(デザイン性)の良さ』は、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が4割強で満足度が高くなっている。

一方、『知りたい情報の探しやすさ』と『全体的な満足度』では、「どちらかといえば不満」と「不満」の合計が5割前後となっており、満足度より不満度が高くなっている。(図 2-6)

2-7 奈良電子自治体共同運営ポータルサイトの利用度

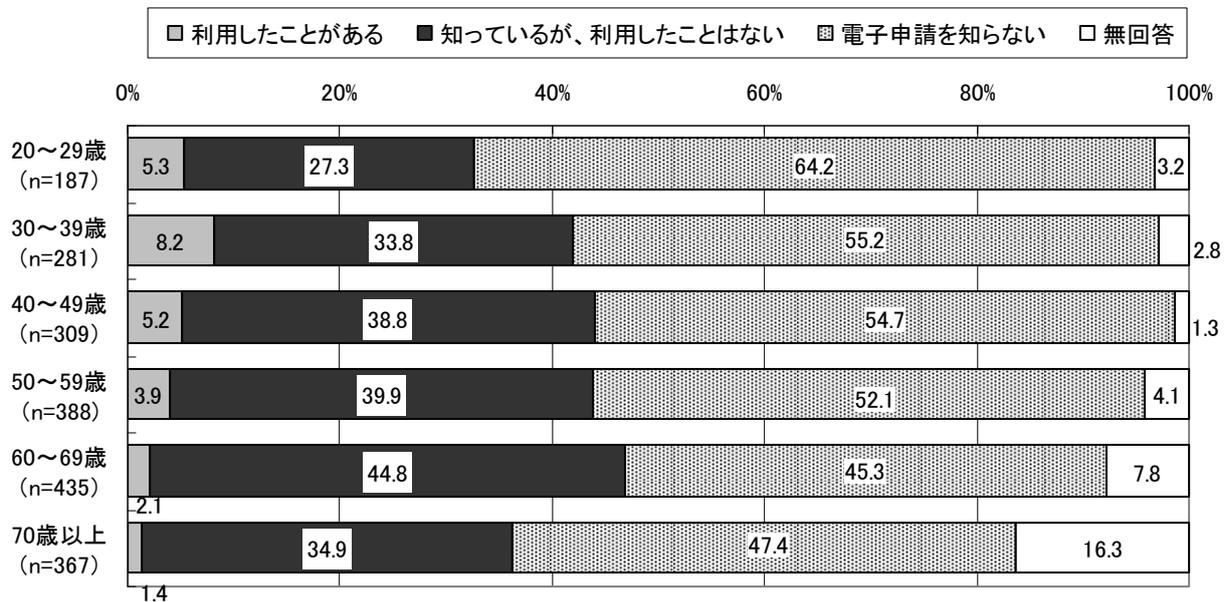
問5 インターネットから申請・届出やイベント申込、施設予約ができる奈良電子自治体共同運営ポータルサイト（電子申請）を利用したことがありますか。
（1つ選択）

図 2-7（奈良電子自治体共同運営ポータルサイトの利用度）【n=1,980】



奈良電子自治体共同運営ポータルサイトについて、「電子申請を知らない」が51.5%で最も高く、「知っているが、利用したことはない（37.7%）」と合計すると89.2%の人が未利用となっている。「利用したことがある」は4.0%にとどまっている。（図2-7）

図 2-7-1（年齢別 奈良電子自治体共同運営ポータルサイトの利用度）

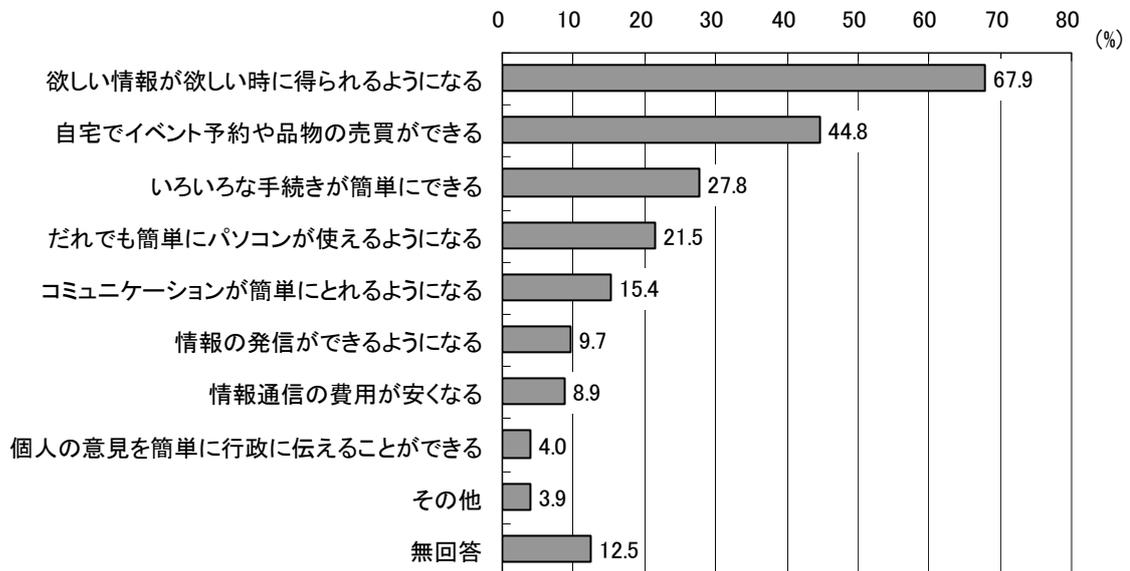


年齢別にみると、20～29歳は「電子申請を知らない」が64.2%と他の年齢層と比べて認知度が低い。（図2-7-1）

2-8 生活の情報化について

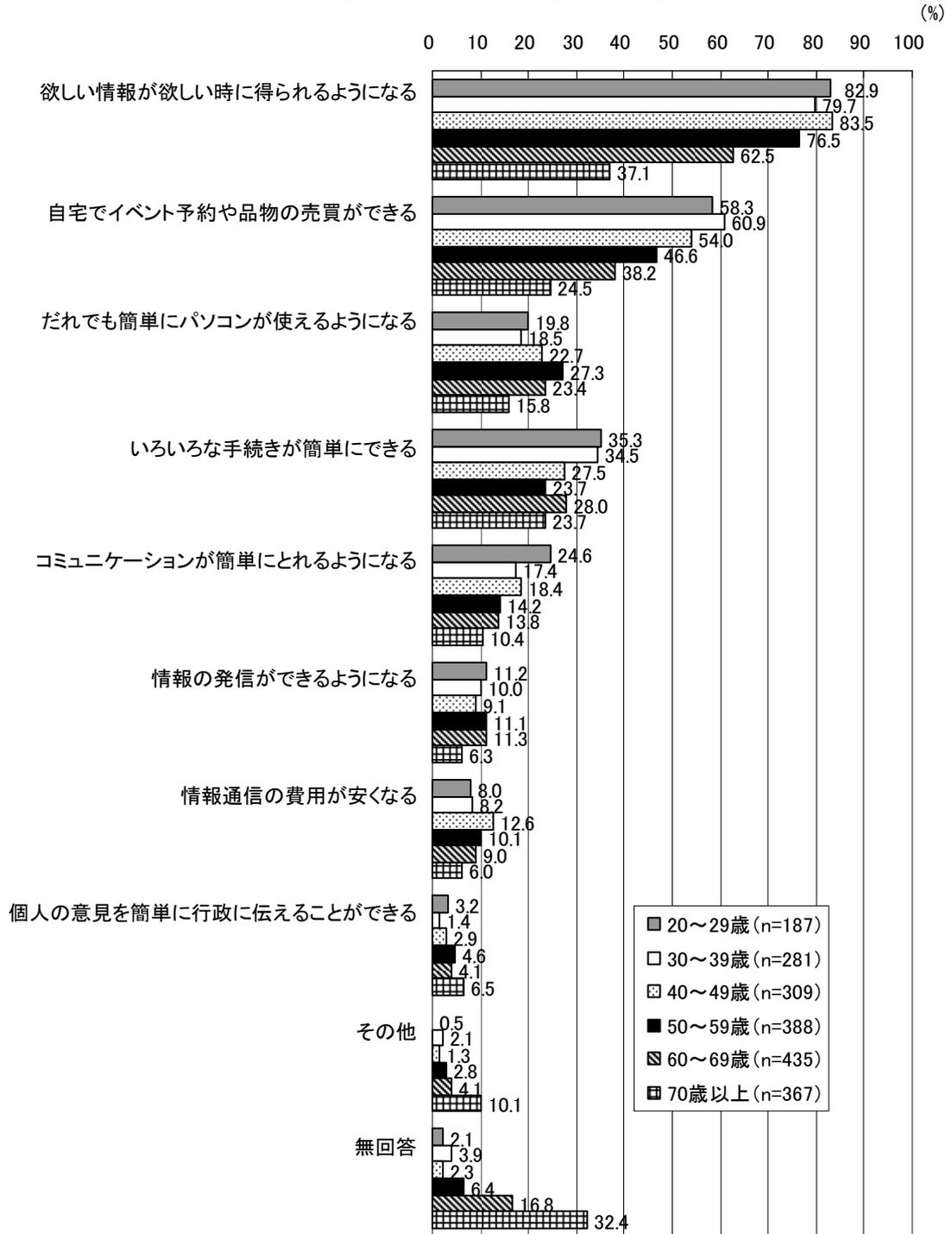
問6 自分の生活で情報化が進んだと感じるのはどのような時ですか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

図 2-8 (生活の情報化が進んだと感じること)【n=1,980】



生活の情報化が進んだと感じるのは、「欲しい情報が欲しい時に得られるようになる」が67.9%で最も高く、次いで「自宅でイベント予約や品物の売買ができる (44.8%)」、「いろいろな手続きが簡単にできる (27.8%)」、「だれでも簡単にパソコンが使えるようになる (21.5%)」の順となっている。(図 2-8)

図 2-8-1 (年齢別 生活の情報化が進んだと感じること)

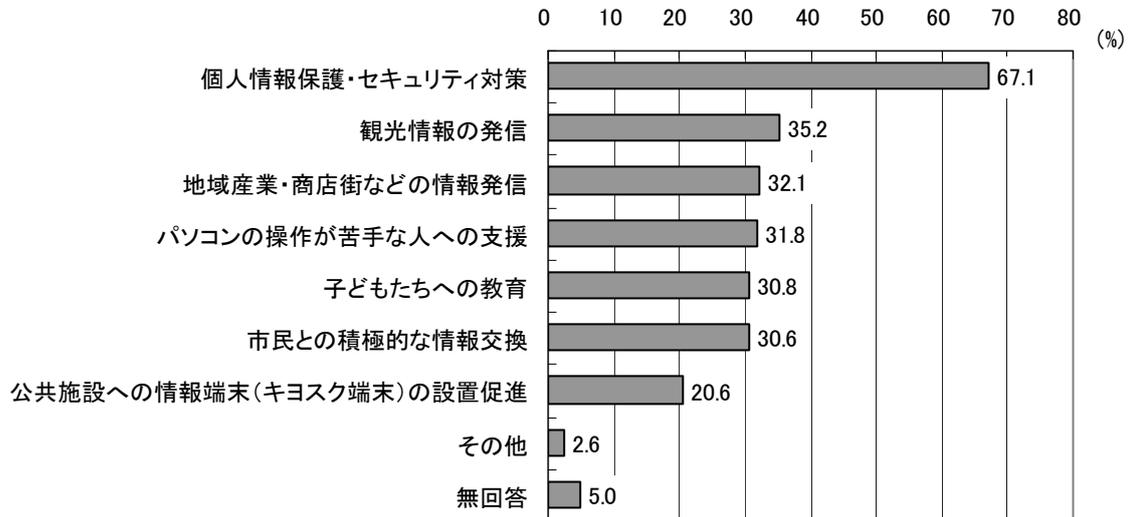


年齢別にみると、20～59歳は「欲しい情報が欲しい時に得られるようになる」が約8割と他の年齢層よりも割合が高い。とりわけ20～39歳は「自宅でイベント予約や品物の売買ができる」が約6割、「いろいろな手続きが簡単にできる」が3割強となっており、情報化が進んだと感じている割合が高くなっている。また、20～29歳は「コミュニケーションが簡単にとれるようになる」が24.6%となっている。(図 2-8-1)

2-9 情報化を進めるにあたり重点を置くべきこと

問7 これからの情報化社会に向けて、奈良市が情報化を進めるにあたり、どのようなことに重点をおいて取り組んでいけばよいと思いますか。
(あてはまるもの3つに○)

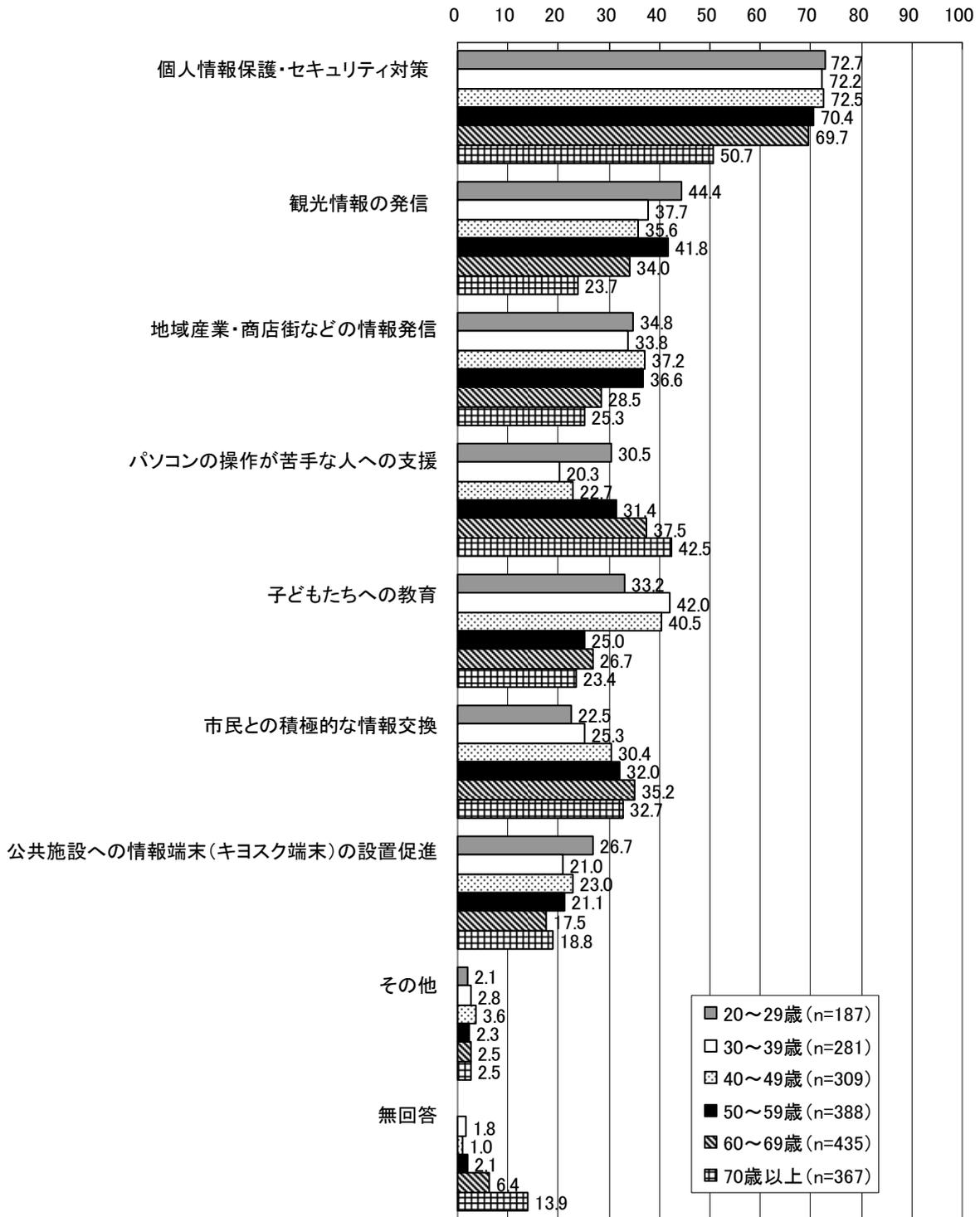
図 2-9 (情報化を進めるにあたり重点を置くべきこと)【n=1,980】



市が情報化を進めるにあたり、重点をおいて取り組んでいけばよいと思うことは、「個人情報保護・セキュリティ対策」が67.1%で最も高く、次いで「観光情報の発信(35.2%)」、「地域産業・商店街などの情報発信(32.1%)」、「パソコンの操作が苦手な人への支援(31.8%)」、「子どもたちへの教育(30.8%)」、「市民との積極的な情報交換(30.6%)」が3割台で続いている。(図 2-9)

図 2-9-1 (年齢別 情報化を進めるにあたり重点を置くべきこと)

(%)

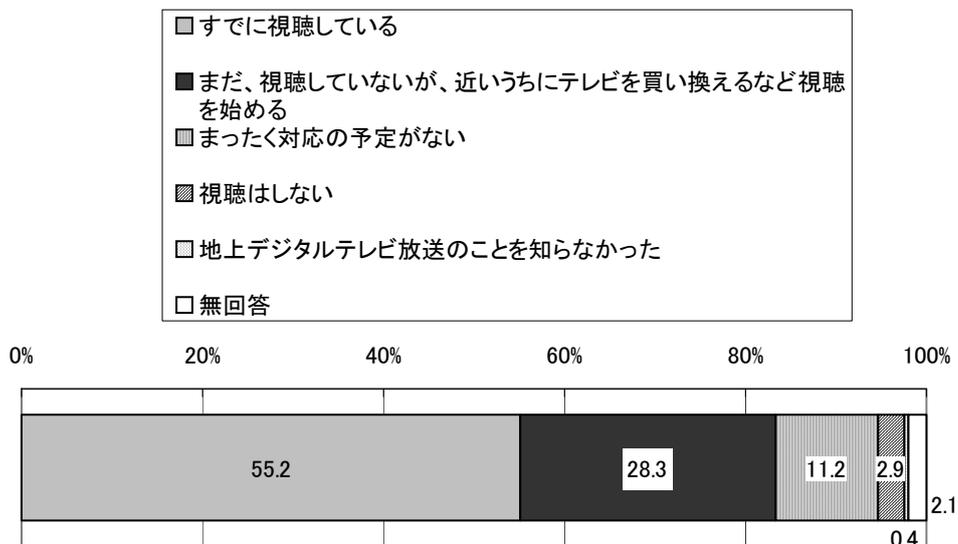


年齢別にみると、20～29歳は「観光情報の発信」、30～49歳は「子どもたちへの教育」、70歳以上は「パソコンの操作が苦手な人への支援」がそれぞれ約4割と他の年齢層よりも割合が高くなっている。(図 2-9-1)

2-10 地上デジタル放送の視聴状況

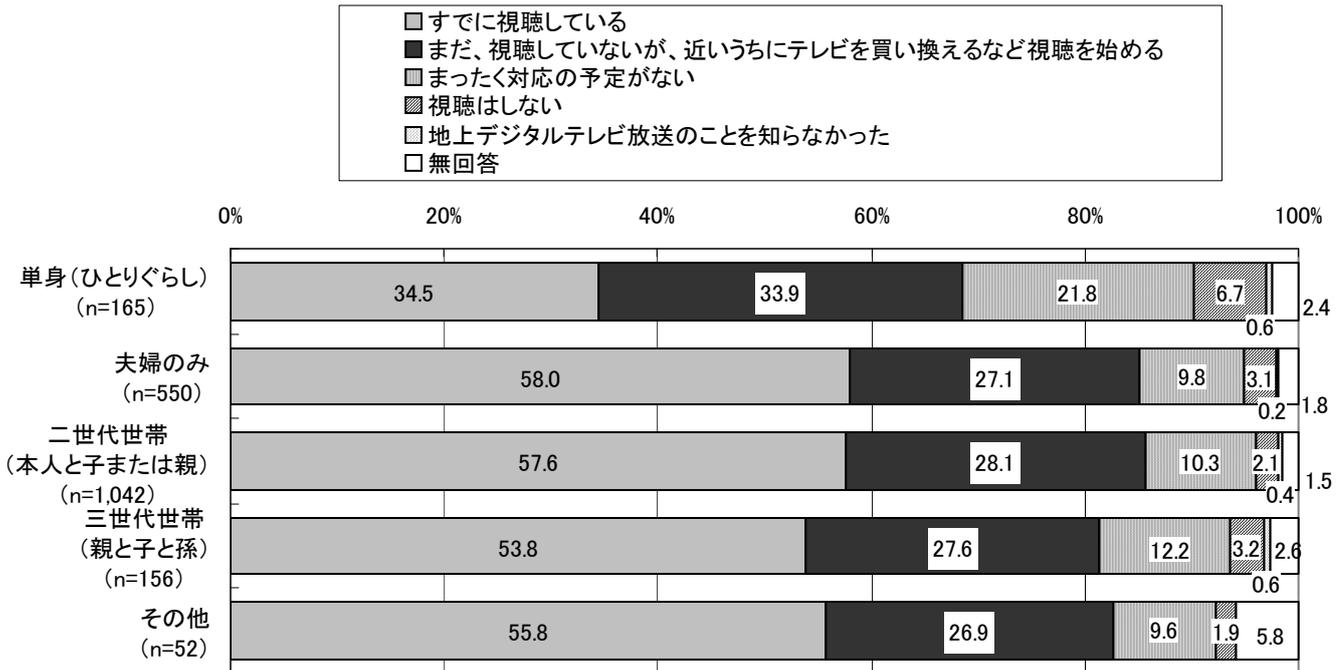
問8 国では、テレビ放送のデジタル化への移行を行っており、2011年7月24日までに現行のアナログテレビ放送が終了します。あなたは、地上デジタル放送（地デジ）対応テレビやチューナーなどで地上デジタルテレビ放送を視聴していますか。（1つ選択）

図 2-10（地上デジタル放送の視聴状況）【n=1,980】



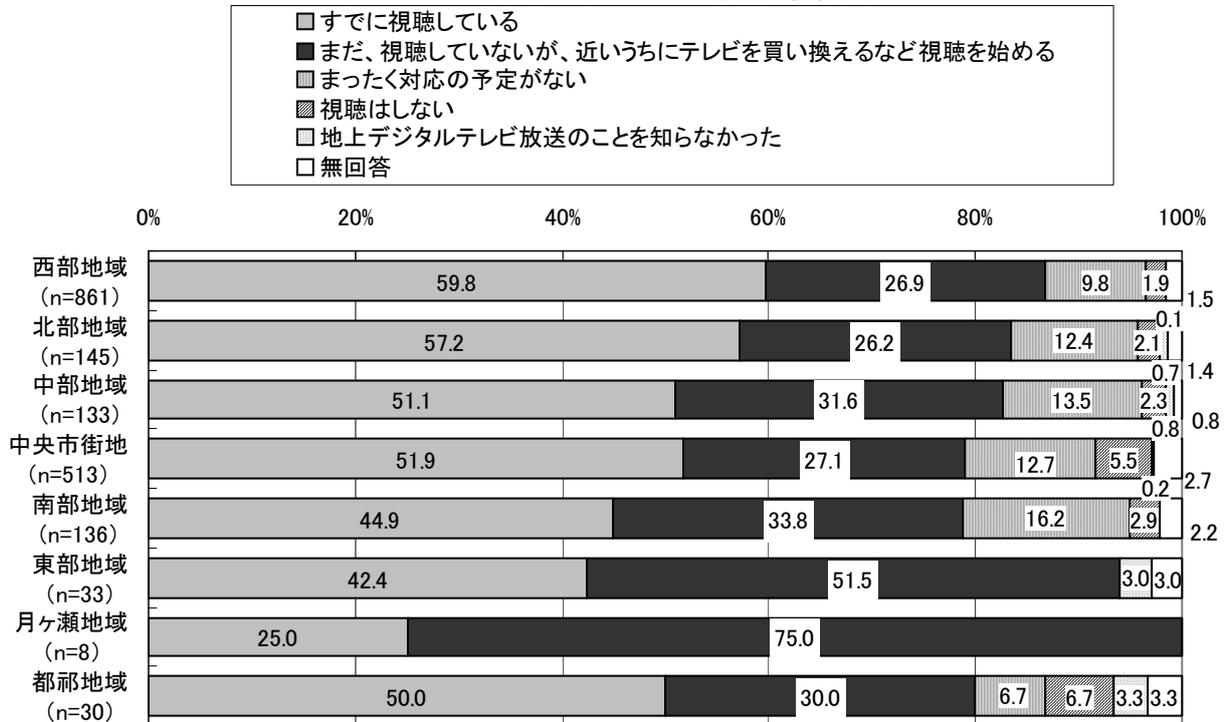
地上デジタル放送を「すでに視聴している」が 55.2%で最も高く、次いで「まだ、視聴していないが、近いうちにテレビを買い換えるなど視聴を始める（28.3%）」、「まったく対応の予定がない（11.2%）」の順となっている。（図 2-10）

図 2-10-1 (家族構成別 地上デジタル放送の視聴状況)



家族構成別にみると、単身(ひとりぐらし)は「まったく対応の予定がない」が21.8%となっている。(図 2-10-1)

図 2-10-2 (地域別 地上デジタル放送の視聴状況)



地域別にみると、南部地域、東部地域、月ヶ瀬地域において「すでに視聴している」の割合が5割以下であり、他の地域と比べて低い。(図 2-10-2)